



## 耕作権裁判勝利！市東さんの南台農地を守ろう！ 空港機能強化・「新しい成田空港」構想粉碎！ 新年デモ&団結旗開き盛大に



私たちは1月12日、新年デモ&団結旗開きを行い、集まった120人の仲間と市東さんの南台農地を守り、空港拡張を阻止する決意を共有し、団結を深めました。

東峰神社でのしめ縄交換(写真右)後、市東さんの南台農地からNAA本社に迫るデモ行進に出発。「戦争のための農地取り上げを許さないぞ!」「強制執行を阻止するぞ!」と怒りのシュプレヒコールをたたきつけました(写真上)。

午後から芝山町「やすらぎの里」で開催した団結旗開きで大いに交流を深めました。私たちの訴え(2、3面)に応え、次々と参加者が発言に立ち闘う決意を表明。軽快なリズムに乗せて政治を斬る



バンド「いなのとひら・のとこぼ」の痛快な歌と演奏は会場の熱を高めました。

私たちは「成田軍事空港絶対反対、農地死守・実力闘争」の原則を貫き闘います。周辺住民のみなさん、本年もよろしく願いいたします。

**3・30天神峰現地闘争** 3月30日(日) 午後1時 市東さんの南台農地集合

### 旗開きの発言から

◎主催者あいさつ

**戦争に突進する石破を倒そう！  
軍事空港粉砕！59年の歴史かけ闘う**

芝山町白樹 伊藤信晴さん



新年早々から耳を疑うようなトランプの発言が続いています。「メキシコ湾をアメリカ湾に」「パナマ運河の管理権を取りたい」「グリーンランドを買収したい」「カナダをアメリカの州に」と。

映画のギャングが話しているようです。ある面ではこれが真実なんです。争奪戦、戦争に向かって進んでいる。トランプはこれを全部抑え込み、アメリカファーストでやっていこうと。本当に凶暴でデタラメな社会になる。

石破はこのトランプと二人三脚でこの戦争情勢に突進しようとしています。本当に想像もできないような世界戦争が目の前に迫ってきている危機感をみなさんも持っていると思います。

市東さんの耕作権裁判は結審から3カ月以上経っても判決の期日が明らかになっていません。判決を書くのに何を迷うことがあるのか。迷うことなんて全然ないんです。市東さんの正当性は明らかです。はっきり言えば裁判長は反動判決をどのようにうまく書くのかということだけを悩んでいる。

市東さんの農地を守る闘いは日本農民の未来のかかった闘いです。全力で反戦闘争を爆発させ、成田軍事空港粉砕の59年の歴史をかけて闘いぬきましょう。



◎乾杯の音頭

**団結の力で私の農地も守られている  
今年も楽しく闘おう！**

成田市天神峰 市東孝雄さん

毎年決戦、決戦という始まりですが、今年も同じようなことになると思います。しかし、私一人じゃ何もできないんです。今日ここに集



まられた皆様の力、それで私の農地も守られています。反対同盟58年の闘いも皆様との団結の力でここまで続けてこられました。本当に感謝しております。

判決が間近だということですが、まだまだ闘いはこれからです。負けたわけじゃないし、私の気力のあるうちは闘います。今年も皆様とともに頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。25年、今年も楽しく闘っていきましょう。乾杯！

◎行動提起・団結がんばろう

**強制執行実力阻止態勢を！  
3・30 天神峰現地闘争に集まろう！**

事務局員 太郎良陽一さん

みなさんの発言を聞いて、われわれ反対同盟も背中を押されました。一昨年2・15強制執行との闘いの比じゃない、もっとすごい闘いを決意しましょう！ 千葉地裁が反動判決を出すことを許さない！

三里塚闘争は反戦闘争の砦（とりで）だと言われました。そういう闘いをみなさんの力を借りて、この少ない人数ですけれども先頭でやりま

す。3月30日、天神峰現地闘争への大結集をお願いします。団結街道裁判、空港拡張差し止め裁判もあります。



耕作権裁判の判決期日が決まったら、千葉地裁への大結集もよろしくお願いします。

2025年闘争の勝利に向けて、われわれ全国労働者人民は三里塚の団結で権力を倒すまで、空港をつぶすまで、団結して闘うぞ！ 勝利するぞ！

### 闘争宣言2025

2025年、ウクライナ戦争が3年、パレスチナ人民虐殺も終わりが見えない中、アメリカ第2次トランプ政権発足によって世界は混乱と衝突が激化し、世界戦争の危機が深まっている。シリア・アサド政権の崩壊、ドイツ連立政権崩壊、韓国・ユン大統領の戒厳令発動、米中対立の激化など世界情勢が激動する中、少数与党に転落した石破自公政権は総翼賛体制構築へと向かい、戦争準備を加速させている。

われわれは帝国主義による侵略戦争と環境破壊に立ち向かう世界の人民と共に闘う。59年目の三里塚闘争は、戦争のための空港機能強化と市東さんの農地強奪に立ち向かい、成田軍事空港粉砕へ闘わなければならない。23年2月の天神峰農地強制執行から2年、成田空港会社は鉄板フェンスで囲い込んだ市東さんの農地を破壊し、荒地にしたまま放置している。これは農民（市東さん）と農業に対する冒涇だ。市東さんの営農と生活を破壊し、騒音をあびせて追い出しにかかる成田空港会社の攻撃を跳ね返そう。

18年間闘ってきた耕作権裁判は証人尋問を闘い抜き、昨年9月結審した。予想される3月の判決日まで気を緩めることなく千葉地裁を包囲し、必ず勝利判決を勝ち取り、南台農地を守り抜こう。仮執行など不当な判決が出た場合は、ただちに実力阻止態勢に決起しよう！

成田空港会社は「新しい成田空港」構想で、効率化し、巨大物流拠点として改造して空港間競争に勝ち抜くというが、実態は国家プロジェクトとしての軍事拠点造りに他ならない。対中国戦争をにらんだ沖縄・南西諸島でのミサイル基地建設から九州、全国へとひろがる空港・港湾の軍事化と弾薬庫建設など、戦争準備と一体だ。辺野古、宮古島など死活をかけて闘う沖縄と連帯して、軍事空港粉砕する反戦闘争に立ち上がろう。

「夜間飛行差し止め訴訟」を闘う周辺住民と連帯し、空港拡張反対署名に取り組み「空港拡張差し止め裁判」を闘おう。3・30 天神峰現地闘争に総決起しよう！ 反対同盟は全ての闘う仲間と共に闘うことを宣言する。

2025年1月12日  
三里塚芝山連合空港反対同盟



# 地域住民の声

今回は、成田市で農業を営む女性から。2期目となる米トランプの中国敵視、難民排除の言動への強い危機感。農家を大事にしない農政を消費者と一緒に変えたいとの訴えです。

## ◆米トランプの中国敵視、難民排除が心配。若者が農家を継げる農政を消費者と共に目指したい。 成田市 農業

幼い頃ですが、戦時中近くの山林に低空飛行の米軍機が墜落してものすごい音がしたことを鮮明に覚えています。先月の反対同盟ニュース132号の「地域住民の声」を読んで思い出しました。

アメリカではトランプが大統領に決まって、自分の国さえよければいいという考え方や中国敵視がますます強くなっています。

難民の排除も、難民を人と思っていないような扱いで、目に余ります。日本も難民の人たちにとって、扱いのひどい国ですが……。

### 団結街道裁判

1月24日（金）10時半～ 千葉地裁  
2月28日（金）13時半～ 千葉地裁 結審

日本は中国とアメリカの間にはさまれた国です。アメリカの言うなりに戦争に協力していたら一番に攻撃的になってしまいます。

戦争になって食べ物が輸入できなくなったら、日本はたちまち飢えてしまいます。「今年は米が高くて大変」とみんな言うけど、農家に見てみたら、今年の米価で何とか息がつけるという価格です。今年の米不足をきっかけに、政府は農家が生活できて、若い人が後を継ぎたいような農政に切り替えるべきなのに、何の手も打っていません。

食べることは生きるための基本です。このままでは農家が高齢化して主食の米さえ、作れる人がいなくなります。マスコミも悪いと思います。消費者をあおって、農家と対立するような報道が多い。消費者と農家が一緒に食料を守るために国を動かすような方向を目指せたらいいと思います。

### ※団結街道裁判とは

成田市天神峰で営農する市東孝雄さんの自宅と南台の耕作地を直線で結び、日々の農作業に不可欠だった成田市道（通称：団結街道）を成田市は2010年6月、暴力的に封鎖・廃止し、土地を格安で成田空港会社（NAA）に売り飛ばしました。「一般交通の用に供する必要がなくなつたと認める場合」（道路法10条）ではないにもかかわらず廃道処分を行った小泉成田市長の違法を追及し、成田市の決定の無効と封鎖している妨害物の撤去を求めています。